

経済学部27チーム
140名の熱戦

先鋒

立論人

「伝える」
プロフェッショナル。
自分の主張を分かりやすく簡潔に伝える。
ここで強固な主張ができるかどうかで試合が大きく左右される。伝える技術で右に出るものなし。

次鋒

応答人

「理解」
プロフェッショナル。
自分たちの主張を誰よりも理解し、どんな質問にも的確に端的に答えていく。
冷静沈着に、だが着実に守りの陣を整える、まさに守護神。

中堅

質問人

「叩く」
プロフェッショナル。
相手の立論の不明確な点を言及する。
お互いの不理解を排除し、正々堂々とした勝負にする。敵を知り、己を知れば百戦危うからず。
分かりやすい議論は、彼の腕にかかっている。

副将

反論人

「思考」
プロフェッショナル。
根拠は正しいか、論理は一貫しているかを、鋭い思考で相手の矛盾を一挙に叩く。
データと論理力を武器に一気に攻め入る。正しい議論を生み出す豪傑。

大将

総括人

「交渉」
プロフェッショナル。
互いの議論を、整理・比較し、どちらが優れているかを主張する。
複雑に絡み合った論理を美しくまとめ上げ、時には起死回生すら起こす天才仕事人。

実は、
チーム戦。

全5役

5人で通す1つの主張

同志社大学経済学部・経済学会主催

ディベート大会2013

観戦のご案内

開催日 7月13日(土) 10時~決勝トーナメント(本選)開始
2013年 15時~決勝戦開始

場 所：今出川キャンパス 良心館103番教室
論 題：「日本はTPPに参加すべきである。是か非か」
出場者：経済学部生

【事前申込不要・入場無料】
※当日は直接会場にお越しください。